第 26 回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭 冬季大会 (スキー・スノーボード競技) (SAT ポイントレース) **開催要項**

主 催 鳥取県 公益財団法人鳥取県スポーツ協会

主 管 鳥取県スキー連盟

1. 期 日 令和8年2月28日(土)

2. 会場 だいせんホワイトリゾート

ジャイアントスラローム・スノーボード・・上の原コース

クロスカントリー・・大山林間コース

3. 日 程 8:00 選手受付(中の原スキーセンター2階)

9:30 ジャイアントスラローム・スノーボードインスペクション

10:30 ジャイアントスラローム競技開始

ジャイアントスラローム競技終了後スノーボード競技開始

10:30 クロスカントリー競技開始

全競技終了1時間後、中の原スキーセンター2階で表彰式を行います。

*競技日程及び場所は、天候その他の事情により変更又は中止になることがある。 その場合は、鳥取県スキー連盟HPに随時アップする。

- 4. 参加資格 小学生以上。ただし、小・中学生は保護者の同意を得た者。
- 5. 競技規則 SAJ 競技規則最新版並びに本大会に定められた規則。

6. 種目組別

	種 別	スキー(男女別)									スノーボード
		参加年齢は令和7年4月2日を基準とする。学年は大会時の学年とする。									(男女別)
種目		小学 1~4 年生	小学 5・6 年生	中学生	少年 (高校生) 15~17 歳	成年 1 部 18~29 歳	成年 2 部 30~39 歳	成年 3 部 40~49 歳	マスター ズ1部 50~59 歳	マスター ズ2部 60歳~	フリー
ジャイアントス ラローム男・女		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロス	男子	2km	3km	5km	10km	10km	5km	5km	5km	5km	
カントリー	女子	2km	3km	5km	5km	5km	5km	5km	5km	5km	
競技方法		・全ての種目とも、タイムトライアル。									
		・クロスカントリーは、クラシカル走法とする。 小学生は 1km コースを周回する。									

7.表 彰 各種別男女別 3 位までの入賞者には表彰状を授与する。

8. 申 込

- (1) 申込期限 令和8年2月13日(金)必着
- (2) 申 込 先 〒689-4242 鳥取県西伯郡伯耆町古市 852—1 スポレク担当 森谷哲郎 E-メール tmori@apionet.or.jp
- (3) 問い合わせ スポレク担当 森谷哲郎 Tm: 090-1682-2998
- (4) 申込方法
 - ア・所属団体ごとに申込一覧表、各種目別個人申込書を記入し、申し込むこと。
 - イ.メールでの申込を基本とする。送金日を付記した振込書のスキャンか写真を添付すること。
 - ウ. 必ず所定の用紙で申込を行うこと。(下記ホームページに掲載)
 - エ. 氏名と所属のヨミガナは半角カナ文字で記載すること。

(公財) 鳥取県スポーツ協会HP: http://www.sports-tottori.com/?p=4908

鳥取県スキー連盟HP: http://www.skitottr.gr.jp/

9. 参加料 3,000円(ただし、小・中学生は1,500円とする)

※参加料振込みについては、下記口座に申込と同時に行うこと

振込先:山陰合同銀行 溝口出張所 店番 099口座番号 3622547 口座名 スポレク祭会計森谷哲郎 (スポレクサイ カイケイ モリタニテツロウ)

10. スタート順 SAT ポイント順で行う。

11. その他

- (1) ジャイアントスラローム出場者は、ヘルメットを着用すること。
- (2) SAT 競技者登録をすることが望ましい。
- (3) 参加者は医師の健康診断、傷害保険加入等安全確保に万全を期すこと。
- (4) 主催者は、競技中の事故について、応急処置はするが責任は負わない。
- (5) 大会期間中の本部は、中の原スキーセンター内に置く
- (6) 在学者については、申込書に学校名とフリガナ(半角カナ)を必ず記入すること。
- (7) 大会開催の可否は、大会2日前に決定し、中止の場合のみ各所属団体に通知する。また前日に中止せざるを得ない場合は、申込責任者に電話連絡をし、(公財) 鳥取県体育協会・鳥取県スキー連盟ホームページに掲載する。なお、大会が中止になった場合でも参加料は返金しない。

協力団体 会見スキークラブ・かしのはスキークラブ・山荘スキークラブ・白樺クラブ スノートピア・大山ACEクラブ・だいせんホワイトリゾートスノークラブ 大山スキークラブ・HART・ハクトスキークラブ・伯耆スキークラブ 陸上自衛隊米子スキー部・西部エフスキーチーム・銀嶺スキークラブ チームホワイト・旗人スノーボードクラブ、大山町、大山町教育委員会

後 援 大山町観光協会、大山旅館組合、だいせんホワイトリゾート、新日本海新聞社、 スキー場管理組合、(一社) 大山観光局